

各 位

盛岡信用金庫

「(北海道内信用金庫様向け) ESG地域金融と地域脱炭素に関わる研究会」
基調講演の実施について

盛岡信用金庫(理事長 浅沼 晃)は、明治36年1月の創立以来「共存同栄」(地域に根差し、地域と共に発展する)の精神のもと、120年の永きにわたり、利益の最大化ではなく、社会課題の解決を使命に取り組んでまいりました。

去る令和5年3月9日、三井住友信託銀行主催「ESG地域金融と地域脱炭素に関わる研究会」にて、当金庫企画部職員が基調講演を行いました。

本研究会は、令和3年9月、三井住友信託銀行様と北海道地方環境事務所様が「ESG地域金融連携協定」を締結されたことを契機に、自治体、地域金融機関、大学、企業等と連携しながら、ESG地域金融の普及、およびこれを活用した地域課題解決の取組みの一環として、定期的に開催されているものであります。

当日は、オンラインでの開催となりましたが、当金庫のほか、北海道電力ネットワーク様も講演され、各種情報が提供されました(当金庫の講演資料は別添のとおり)。

当金庫では、今後につきましても、サステナブルな未来に向かって、SDGs・ESGの更なる推進体制強化を図るべく、全役職員一丸となって取り組むとともに、自治体や企業の皆さまとパートナーを組み、地域金融機関としての役割を果たしてまいりますので、引き続き、ご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



(写真) 基調講演の様子

【本件に関するお問い合わせ先】

盛岡信用金庫 企画部

(担当：高木)

電話番号：019-623-2221





皆さまに愛されて、120年

ESG地域金融と地域脱炭素に関わる研究会

「地方金融機関のESGとSDGsの取組みについて」



信用金庫業界マスコットキャラクター「信ちゃん」

令和5年3月9日



企画部長 高木 恵証

<目次>

■ 当金庫の概要	(プロフィール)	3
	(創立120周年)	4
■ 当金庫におけるESG・SDGsの取組み	(SDGs宣言)	6
	(SDGsマップ)	7
	(連携取組事例①～⑦)	8
	(態勢強化①～⑥)	16
■ 今後の課題		19

<当金庫の概要（プロフィール）>

- 本店所在地 盛岡市中ノ橋通一丁目4番6号
- 設立 明治36年（1903年）1月19日
- 店舗数 23店舗
- 会員数 31,969人
- 出資金 18億96百万円
- 総資産 2,740億 7百万円
- 預金残高 2,603億43百万円
- 貸出金残高 1,357億76百万円
- 自己資本比率 8.32%
- 役職員数 常勤役員 7名、職員 234名

（令和4年3月31日現在）



当金庫本店



第9代理事長 浅沼 晃

昭和33年12月 旧盛岡貯蓄銀行の建物を譲受
昭和52年12月 盛岡市の保存建造物に指定

<当金庫の概要（創立120周年）>



もりしん
スマイル

～皆さまに愛されて、120周年～

【120周年 ロゴマークの説明】

当金庫のコーポレートカラーを使用しています。

120の下にあるラインは、地域の皆さまと共に120周年を迎えることができたうれしさの笑顔を表現しています。

ラインの左側の山は岩手山、右側が姫神山を表現（当金庫のイニシャルMも表現）しています。

当金庫が地域の皆さまの架け橋になり、明るい未来に向かっていくよう右上がりを表現しています。

【ロゴに込めた思い】

「創立以来、120年の永きに亘り「共存同栄」の精神で築き上げてきた信頼関係のもと、これからも役職員一人ひとりの笑顔で、サステナブル（持続可能）な未来に向かって、地域の皆さまと共に歩んでいく」という思いを込め、策定しました。

<当金庫の概要（創立120周年）>

■ 当金庫HP上における120周年特設サイトの開設

令和4年4月、当金庫は、令和4年度を創立120周年に係る事業年度として位置付け、当金庫HP上に120周年特設サイトを開設しました（理事長挨拶、歴史、トピックス、ロゴマーク）。

■ YouTubeにおける当金庫公式チャンネル開設

令和4年7月、YouTubeに当金庫公式チャンネルを開設しました。現在、120周年を記念して作成しましたテレビコマーシャル動画を公開しています。なお、コマーシャル動画は、当金庫HP「120周年特設サイト」からもご覧いただけます。



当金庫 HP 120周年特設サイト



当金庫公式YouTubeチャンネル

<当金庫におけるESG・SDGsの取組み（SDGs宣言）>

■令和2年6月15日、岩手県内6信用金庫「SDGs共同宣言」を公表

当金庫における創業の精神である「共存同栄」（地域に根ざし、地域と共に発展する）のもと、「地域経済」「地域社会」「地域環境」の3つの側面から、取引先と地域社会が抱える課題の解決、持続可能な社会の実現に向け取り組んでいます。

私たち信用金庫は、協同組織金融機関であり、中小企業などのお客さまをお取引先とし、営業エリアも限定されていますので、地域に根ざした営業活動が求められています。つまり、「地域の発展なくして、金庫の発展なし」「地域と一蓮托生」という考えで業務に取り組んでいます。

自治体や企業とパートナーを組み、連携することで、ESG・SDGsへの取組み効果を実現します



「しんきんSDGs」

■エコアクション、環境活動等に係る受賞歴 環境省「21世紀行動原則」に登録

平成24年2月 東北経済産業局「東北再生可能エネルギー利活用大賞」受賞

平成24年3月 「環境エネルギー普及事業支援」により、東北財務局「地域密着型金融の取組み」に対する顕彰受賞

平成25年3月 「もりおか起業ファンド」設立により、東北財務局「地域密着型金融の取組み」に対する顕彰受賞

平成26年6月 「もりおか起業ファンド」の取組みにより、第17回信用金庫社会貢献賞「地域活性化しんきん運動・優秀賞」受賞

令和元年6月 「紫波企業の森づくり」「八幡平松尾鉱山跡地」の環境保全活動により、温暖化防止いわて県民会議「できることからECOアクション！会長特別賞」受賞

令和4年11月 「水と緑を守り育てる活動知事感謝状」受賞

令和5年2月 環境文明21「経営者環境力大賞」受賞



<当金庫におけるESG・SDGsの取組み（SDGsマップ）>

●地域社会

当金庫は、地方創生に向け、次世代につながる賑わいのあるまちづくりの実現を目指し、多様な人財が活躍できる環境の整備に努めてまいります。

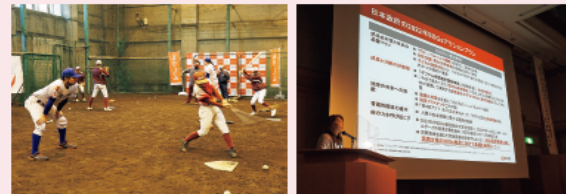


- 盛岡書房が運営している「象と花」プロジェクトに参画し、各営業店に古本回収ボックスを設置しました。寄付された本は盛岡書房が販売代金にて新刊本を購入し、岩手医科大学附属病院に入院する子どもたちへ寄贈しました。
- 遠野市「こども本の森 遠野」より遠野支店を通じ、盛岡書房への本の寄付の相談が寄せられ、協定締結式と古本約4400冊の寄付が行われました。
- 盛岡市内の3児童養護施設に対し書籍を寄贈しました。
- 学生服リユースShop「さくらや盛岡店」の「学生服の回収BOX」を、営業店ロビーに設置しました。なお、同店では、買取り査定額と同額を、「子供の未来応援基金」へ寄付しました。
- SDGs取組み定期預金キャンペーン「2021夏」を実施して、新型コロナウイルス感染症対策を目的とした岩手県の関連事業に対し100万円を寄付しました。
- 岩手中学校2年生9名を対象に「職場体験学習」をオンラインで実施しました。
- (公財) 岩手県スポーツ振興事業団が主催する「もりしん中学生野球教室」に当金庫野球部職員を講師に派遣しました。
- 第36回岩手県学童軟式野球選手権大会「もりしんカップ」へ特別協賛しました。
- 二戸地区信友会連絡協議会が主催する学童軟式野球大会へ後援・協賛しました。
- 第9回盛岡信用金庫「桜の礼所・絵画コンクール」応募作品展示会を開催しました。
- 第5回「もりしん愛の献血運動2021」を実施しました。
- 当金庫役員、部室店長ほか関連部署職員を対象に、三菱UFJリサーチ&コンサルティングの吉高まり氏を講師に招き「SDGs・ESG金融に係る研修会」を開催しました。



「岩手医科大学附属病院へ新刊本の寄贈」

「児童養護施設への書籍の寄贈」



「もりしん中学生野球教室」

「SDGs・ESG金融に係る研修会」

もりしん SDGsマップ

盛岡信用金庫は、国連が提唱する「持続可能な開発目標 (SDGs)」を金庫活動につなげ、地域社会の繁栄に貢献することで、持続可能な社会の実現に努めてまいります。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

持続可能な開発目標SDGs(エス・ディー・ジーズ)とは

持続可能な開発目標 (SDGs) とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標 (MDGs) の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない (leave no one behind)」ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル (普遍的) なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。



●地域経済

当金庫は、地域における課題解決に向け、地域内外などのパートナーと連携し、また共有価値を創造することで地域経済の持続可能な発展に貢献してまいります。



- 「いわて食の大商談会2021」を主催し10企業を推薦しサポートしました。
- 事業者向け事業承継サポートを行う「つぐべ岩手」を創設し、岩手県が加入しました。
- 第16回「ビジネスマッチ東北2022春」へ33企業・団体を推薦しサポートしました。
- 日本政策金融公庫盛岡支店と「コロナ資本性ローン」で連携しました。
- 「もりおかSDGsファンド」へ11社投資を行いました。(令和4年7月31日現在)
- 東京海上日動火災保険㈱とSDGsに関する包括連携協定を締結しました。



「SDGsに関する包括連携協定」(東京海上日動火災保険㈱)

「ビジネスマッチ東北2022春」

●地域環境

当金庫は、地域の環境保全に積極的に取り組みます。また事業活動においては、環境への負荷を抑えるなど環境に配慮した適切な活動を行ってまいります。



- 第10回紫波企業の森づくり「もりしん 共有向きの森」森林環境保全活動を実施しました。
- グリーンボンド(債券)、ESG関連投資信託、サステナビリティボンド(債券)に投資しました。



「もりしん共有向きの森」

<当金庫におけるESG・SDGsの取組み（連携取組事例）>

■ パートナーと連携した主な取組みは以下のとおり

① 「もりおかSDGsファンド」（もりおかSDGs投資事業有限責任組合）

当ファンドは、地域における社会課題の解決、起業家・経営革新企業の創出、コロナ禍からの復活を投資テーマとし、盛岡広域の自治体との連携のもと、SDGsに基づく17のゴールの達成、社会課題の解決に取り組む企業への資金供給と経営に対するハンズオン支援を通じ、事業の成長、雇用拡大、地元経済・産業の発展に貢献するものです（令和4年9月末時点での投資実績は、11社80百万円）。

令和3年1月、当金庫、盛岡市、滝沢市、矢巾町、投資会社であるFVC Tohoku(株)により設立され、4月には紫波町加入（令和3年度・4年度、当金庫職員が、各1名FVC Tohoku(株)へ1年間出向）。

会社名	事業内容	所在地	設立
株式会社盛岡書房	古本販売事業	盛岡市	2021年2月
株式会社工藤	襦袢を使ったリメイク品 欧米古着の仕入販売	盛岡市	2021年2月
株式会社トータルサポート唯一	家財整理・就活アドバイス・不用品回収等 身のまわりに関するお困りごとサポート	盛岡市	2021年1月
株式会社コレクカフェ	レストラン経営、キッチンカー出店、 キッチンカー製造・販売・コンサル	滝沢市	2020年10月
株式会社URBAN GLOCAL JAPAN	マルシェイベントの企画運営 地域創生コンサルティング（SNSの運用代行）	盛岡市	2021年6月
株式会社クオントディテクト	DNA腫瘍マーカーを用いたがんのモニタリング	盛岡市	2021年4月
株式会社興縁	岩手県内の幼稚園生～中学生を対象とした プログラミング教育事業	八幡平市	2020年9月
株式会社hachi hachi	美容室、医療美容サービス	盛岡市	2021年10月
筑波フォレスト株式会社	循環型林業生産事業	八幡平市	2021年3月
株式会社クラシカウンスル	伝統工芸の産業振興及び普及、技術継承に関わる事業 伝統工芸品の開発製造、地場産品等の販売事業	盛岡市	2020年12月
株式会社東北医工	医療用および福祉機械器具の企画、開発、 製造および販売など	盛岡市	2022年5月





もりおかSDGsファンド





ファンドの趣旨 SDGs(持続可能な開発目標)に基づく17のゴールの達成及び社会課題の解決に寄与する株式会社への資金供給と経営支援を行います。
社会性と収益性の両立を図る企業や事業を中心に支援を行います。

ファンドの特徴 **業種・業歴・規模の制限はありません。**
※未上場の株式会社が対象ですが、法人成りや組織変更もサポートします。

ファンドの対象
※株式上場を目指さない企業の方でも支援可能

エリア → 盛岡広域・岩手県北地域に本社又は拠点を置く企業

対象事業主 → 新規創業、第二創業、個人事業主、合同会社など



投資キーワード

- SDGsに基づく17のゴール
- 社会課題解決
- 社会起業家
- 地域おこし協力隊
- ウィズコロナ・アフターコロナ
- 事業承継
- 大学発ベンチャー
- 起業・創業

ファンドの概要

1) ファンド名称	もりおかSDGs投資事業有限責任組合（略称：もりおかSDGsファンド）
2) 設立日	2021年1月15日設立
3) 運用期間	設立日より10年間(延長期間は最長2年)
4) ファンド総額	199百万円
5) 投資金額	概ね5百万円～10百万円（投資額の上限はファンド総額の20%まで）
6) 出資者	有限責任組合員：盛岡信用金庫、盛岡市、滝沢市、矢巾町、紫波町 無限責任組合員：FVC Tohoku株式会社

<当金庫におけるESG・SDGsの取組み（連携取組事例）>

②「象と花」プロジェクト

「もりおかSDGsファンド」の投資先である(株)盛岡書房様は、当金庫と連携し、令和3年8月、古本をクリーニングしたうえで、専用HPで販売し、売上の10%を絵本の購入代金に充て、慢性疾患等で長期入院中の子供たちへ新品の絵本を贈る「象と花」プロジェクトを開始しました。

当金庫では、全23店舗に古本回収ボックスを設置し、お客さまや当金庫役職員から古本の寄付を募り、令和3年10月には、4,000冊に達しました。

当金庫をはじめ寄付された古本は、(株)盛岡書房様が回収し、上記スキームに基づき、地元書店のさわや書店様が新品の絵本を53冊選書し、10月27日、岩手医科大学附属病院の無菌病棟に入院する子供たちへ、第1回目の寄贈をしました。

令和4年2月、岩手県遠野市の図書館「こども本の森遠野」と連携した新たなプロジェクトを開始しました。同図書館の棚から入れ替える本や、当金庫遠野支店の古本回収ボックスに寄付して頂いた本の査定額をもとに、販売した代金の一部を図書館の運営費として循環させる取組みになります。

③ 制服寄付BOXの設置

学生服リユースShop「さくらや盛岡店」様から、当金庫に対し「制服寄付BOX」の設置依頼を受け、令和3年7月より3店舗に設置し、それ以降他店へ順次展開しています。

同店では、当金庫に設置された「制服寄付BOX」から、制服等を回収し、買取査定額と同額を内閣府「子供の未来応援国民運動」の一環として創設された「子供の未来応援基金」へ寄付しました（令和4年3月末時点 228点の制服等を回収）。



令和3年8月23日（月） 岩手日報掲載記事

<当金庫におけるESG・SDGsの取組み（連携取組事例）>

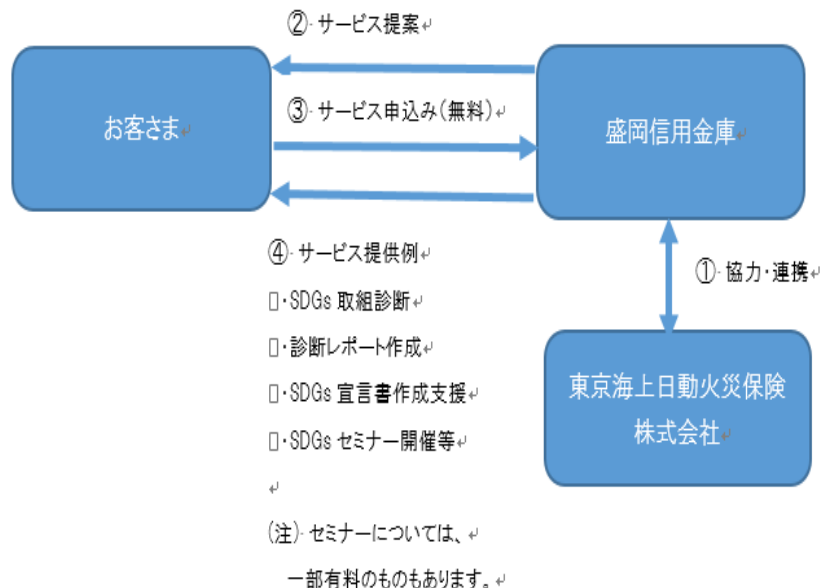
④ 東京海上日動火災保険(株)とのSDGsに関する包括連携協定締結

令和4年3月、お客さまへのSDGsに係る取組み支援を強化するため、東京海上日動様と包括連携協定を締結し、4月1日より同社が提供する「SDGs診断サービス」の取扱いを開始しました。

同社が提供する「SDGs診断サービス」を活用し、お客さまのSDGsに対する理解の向上やSDGs宣言書作成支援、お客さま向けのSDGsセミナー等も開催します。



【スキーム図】



もりしん「SDGs診断サービス」

120 もりしんスマイル

こんなお困りごとはありませんか?
 「最近、SDGsという言葉をよく耳にするけど、一体なに?」
 「SDGsに取組みたいけど、何から始めればいいのか?」
 「自社の強みを踏まえて、SDGsに取組んでいきたいけど、何かサポートを受けられないの?」

SDGsに取組むと・・・

新たな市場の開拓
 他社との差別化
 企業イメージの向上
 ESG投資による資金調達 etc.

もりしんでは、お客さまのSDGsに係る課題解決に向け、「SDGs診断サービス」の提供を開始しました!

<サービス①> 無料

選択式のアンケート4分野・合計40問の設問にご回答いただいた情報をもとに、お客さまのSDGsの取組状況を**診断レポート**として提供します。

<サービス②> 無料

上記①の診断レポートを踏まえ、お客さまの**SDGs行動宣言書**を作成のうえ、提供します。

<サービス③> 無料

お客さまのご要望を踏まえ、課題解決に向けた金融商品、サービスを提案します。
※ご提案は無料となりますが、商品のご契約等に当たっては、料金が発生する場合がございますので、詳細は別途ご確認ください。

..... □ SDGs □

・SDGsとは、Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称です。

・SDGsは2015年9月の国連サミットで採択された国際目標です。

・持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現に向けて、2030年までに世界中で取り組むべき17のゴール（目標）と169のターゲット（具体的な取組内容）から構成されています。

【ご留意事項】

- ・本サービスは、令和4年3月8日、当金庫が東京海上日動火災保険株式会社とSDGsに係る包括連携協定を締結し、同社より提供を受けております。
- ・本サービスのご相談は、お近くの当金庫本支店へお問い合わせください。

ESG推進室
地域連携部
企画部

(令和4年4月1日現在)

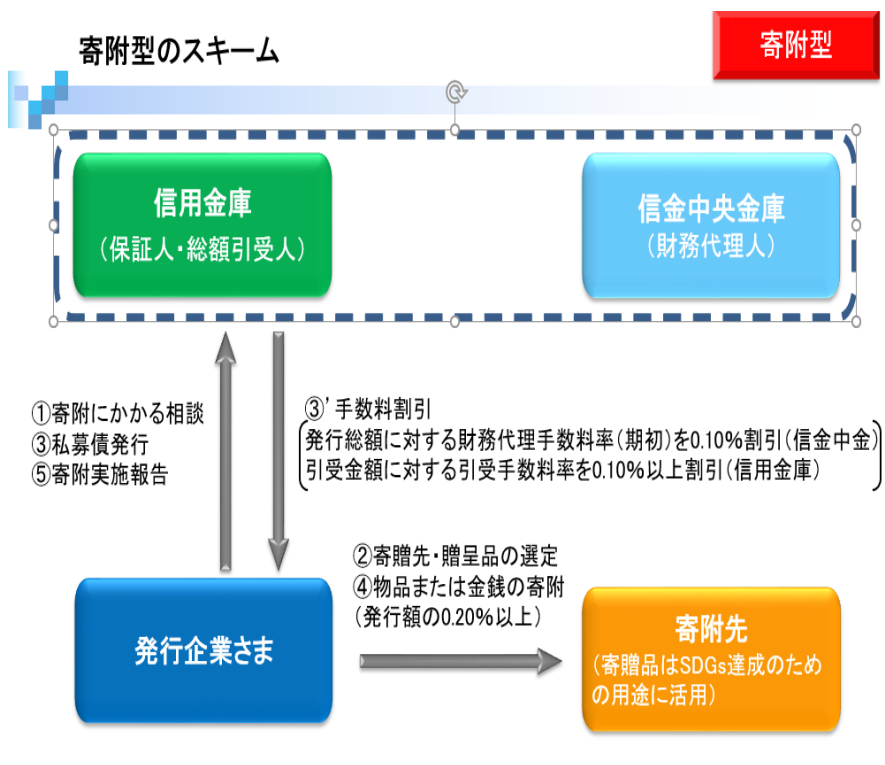
「SDGs診断サービス」チラシ

<当金庫におけるESG・SDGsの取組み（連携取組事例）>

「SDGs診断サービス」の結果、お客さまの要望等も踏まえながら、課題解決に向けた金融商品・サービスを提供します。例えば、**もりしんSDGs私募債「ちいきのミライ」**等のご提案を行っています。

もりしんSDGs私募債は、令和4年1月より取扱いを開始しており、SDGsの取組みに関心のある企業様が私募債を発行した際、企業様にご負担頂く手数料のうち発行額の0.20%相当額以上を、ご指定いただく地域の学校や公共施設等、SDGs達成を用途とする物品または金銭を寄贈して頂けるものになります。

令和4年9月、(株)二富電機（高宮代表取締役）様が、もりしんSDGs私募債を第1号に発行（50百万円）し、同年11月、20万円相当の教育関連用品を盛岡市内の県立盛岡工業高等学校へ寄付しました。



もりしんSDGs私募債「ちいきのミライ」

もりしんでは、「SDGsの取組み」に関心の高い企業さまへのサービスの1つとして、もりしんSDGs私募債「ちいきのミライ」のお取扱いをしております（令和4年1月14日開始）。

➡ マスコミ等で私募債という言葉は聞けど、**私募債とは、そもそも一体何なの？**
いくつかのご質問にお答えします。

<ご質問①>
私募債とは一体何ですか？
私募債とは、企業が資金調達する手段で、社債の1つです。ご融資が間接金融であるのに対し、私募債は直接金融と呼ばれます。つまり、お客さまにとっては、金融機関のお借入れへの調達が可能であり、**資金調達の多様化**につながります。
※決算書の表記として、借入で長期資金を調達した場合、「長期借入金」と表記され、**私募債の場合は「社債」と表記**されます。

<ご質問②>
もりしんで取扱っている私募債は、具体的にどのような種類ですか？
当金庫では、企業が発行される私募債を総額引受のうえ、保証する「**信用金庫保証付私募債**」と保証協会と当金庫で保証する「**信用保証協会共同保証付私募債**」になります。

<ご質問③>
私募債を発行する場合、手続きが煩雑ではないですか？
ご融資と比べ、当金庫に加え関係当事者が複数にわたるため、私募債特有のご提出書類もございます（信金中央金庫、証券保管振替機構等）。ただし、当金庫において、提出書類に係るサポート等を行いますので、お手続きに関しましては、ご安心ください。

<ご質問④>
私募債の発行に関して、関係当事者も多く調達コストは高くないですか？
私募債発行に係る費用として、社債利息にあたるクーポンだけでなく、**各種手数料および信用保証料と多岐にわたります**。
私募債の調達コストは、ご融資に比べ高くなることもありますが、ご融資では得られない、**以下メリット**を受用することができます。

<ご質問⑤>
私募債のメリットとは何ですか？（以下は一例になります）

- ① 私募債には、発行体の資格要件（※適債基準）を設けており、基準を満たすことが条件となります。つまり、一般的に私募債を発行できる企業は**優良企業と認識**されるケースが多く、発行体の取引先サイドとしても、**安心感**につながります。
- ② 私募債発行の際には、**地元紙等への記事掲載**により、知名度アップのPR効果も期待できます。
- ③ 社員さまに対しては、社内報等の手段により、私募債発行を知らせることで、**自社の優良性を認識**させることができ、**社員さまのモチベーション**向上が期待できます。
- ④ 当金庫で取扱う私募債について、保証はご質問②のとおりであり、**かつ無担保**での発行も可能となります。
- ⑤ 私募債では、満期一括償還も可能であり、**長期資金を安定的に調達**でき、かつ発行時に調達コストも確定することができます。
- ⑥ 私募債の発行時には、**記念楯（右）を贈呈**させていただきます。

<ご質問⑥>
もりしんSDGs私募債とは何ですか？
私募債を発行する際、企業にご負担いただく手数料（財務代理手数料、引受手数料）のうち、**発行額の0.20%相当額以上**をご指定いただく地域の学校や公共施設に、SDGs達成を用途とする物品または金銭を寄附していただけるものです。

本サービスのご相談は、お近くの当金庫本支店へお問い合わせください。

20周年 盛岡信用金庫 企画部
（令和4年7月現在）

「もりしんSDGs私募債」チラシ

<当金庫におけるESG・SDGsの取組み（連携取組事例）>

⑤ e-dash(株)とのCO₂排出量可視化サービスに関する業務提携締結

令和4年12月、お客さまの脱炭素化に向けた取組み支援を強化するため、e-dash様とCO₂排出量可視化サービスに関する業務提携を締結しました。

同社より、CO₂排出量削減への取組みを総合的にサポートする三井物産発のサービスプラットフォーム「e-dash」の提供を受け、取引先の脱炭素化に向けた取組みを支援していきます。

具体的な取組みとしては、CO₂排出量の可視化を行い、その先の排出量削減に向けた施策の実行支援も含めて、当金庫は同社と連携のうえ伴走支援を行い、脱炭素社会の実現を目指していきます。



MITSUI & CO.

e-dashは、三井物産の新たな挑戦です。

「e-dash」チラシ

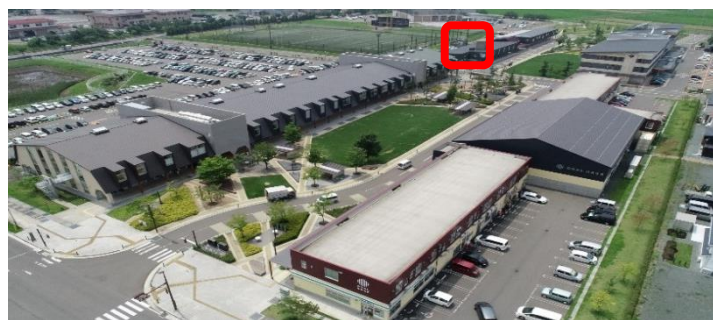
<当金庫におけるESG・SDGsの取組み（連携取組事例）>

⑥「再生可能エネルギー事業」を通じた地域活性化支援（15頁参照）

東日本大震災以前より、再生可能エネルギーを活用した事業を継続的に推進・支援することで、「地産地消方式」の環境ビジネスの確立に取り組んでいます。

自治体への提案を行い、地域内で得たエネルギーを地域内で消費し、エネルギー代として地域外へ流出していた資金を地域内で循環させていく、**エネルギー版「地産地消方式」**を積極的に促進しています。つまり、小規模分散型で災害にも強く、新たなビジネス・雇用を創造するとともに、お金も地域内で循環させる「**循環型社会の形成**」に資するものです。

具体的には、紫波中央駅前再開発（オガールプロジェクト）において、紫波町役場、商業施設、宿泊施設、住宅へ**木質バイオマスを利用した地域熱供給事業**を行うため、**エリア内に蓄熱管理設とエネルギーセンター建設を支援**しました。



(オガールプロジェクト)

左上：全体写真

左下：全体概略図

右：スキーム図



<当金庫におけるESG・SDGsの取組み（連携取組事例）>

⑦ 森林環境保全活動（紫波企業の森づくり等）

平成23年11月、紫波町と「紫波企業の森づくりに関する協定」を締結し、町における燃料供給態勢確立へ向けての支援事業の一環として、平成24年から令和8年までの15年間にわたり活動を実施します（CO₂吸収量合計：54.95t-CO₂/年）。

森林整備を通じ、二酸化炭素吸収、水源涵養、土砂流出防止等のほか、間伐によって搬出された木材は、木質チップとして再資源化することにより、地域内のエネルギーとして活用されます。

毎年度、職員による「紫波企業の森づくり」が継続されており、育樹作業とクヌギの苗木を植樹するとともに、再生可能エネルギー設備の見学等を実施しています。

その他、平成20年より荒廃裸地化した「八幡平松尾鉦山跡地」を「友情の森」と名付け、森林再生活動に取り組んでいます。



「紫波企業の森づくり」森林環境保全活動



「八幡平松尾鉦山跡地」森林再生活動

(参考) 再生可能エネルギー事業への取組み

● 再生可能エネルギー導入設備事業「ラ・フランス温泉館」への支援

○「ラ・フランス温泉館」（紫波町）の「再生可能エネルギー導入」を支援し、「紫波町」と一体となって再生可能エネルギーの推進による町づくりに寄与しています。

○設置されている再生可能エネルギー設備
 「太陽光発電設備」 「太陽熱利用給湯設備」 「温度差エネルギー 排水熱利用設備」



○間伐材などの木材を利用する「チップボイラー」が設置されており、当金庫の「紫波企業の森づくり」活動で搬出した間伐材の一部が、燃料となる「木質チップ」として使用されています。



● 紫波中央駅前「オガールエリア」エネルギーステーションへの支援

○紫波中央駅前の再開発「オガールプロジェクト」において、紫波町役場、商業施設、宿泊施設、住宅へ、木質バイオマスを利用した地域熱供給事業を行うためのエネルギーステーション建設計画を支援しました。



○エネルギーステーションに設置されている「チップボイラー」に、当金庫の「紫波企業の森づくり」活動で搬出した間伐材の一部が、燃料となる「木質チップ」として使用されています。



地域社会の発展と、
ゆたかな暮らしづくりをめざして



● 「紫波企業の森づくり」森林環境保全活動“もりしん共存同栄の森”

○紫波町における燃料供給態勢確立へ向けての支援事業の一環として、森林を整備し水源涵養など森林の公益的機能の向上を目的に、紫波町と「紫波企業の森づくり」に関する協定を締結。これまでに約5.6ha（東京ドーム約1個分強）の面積を整備しました。

○森林整備を通じ、二酸化炭素吸収、水源涵養、土砂流出防止等のほか、間伐によって搬出された木材は、木質チップとして再資源化することにより地域内のエネルギーとして活用されています。

○紫波町内の木質燃料供給

①森林整備（除伐、間伐、植林等） ②除伐、間伐材の運搬 ③木質燃料用チップの製造 ④紫波町内における使用

岩手県岩手中央森林組合 紫波町 紫波町 紫波町 紫波町

もりしん→水分森林づくり推進協議会

一般社団法人紫波町農林公社

オガールプラザ エネルギーステーション

● ファンドによる公共施設屋根借り太陽光発電事業への支援

○屋根借り太陽光発電事業として、ファンドを活用した市民参加型「紫波ゆめあかりファンド」に取組み支援をしました。

○紫波町内における11箇所の公共施設、公民館、駅舎等に16kwから526kwの規模のソーラーパネルを設置。国の「再生可能エネルギー固定買取制度」の利用により安定した収益を得ます。

	パネル枚数(枚)	パネル出力(kW)
1.紫波中央駅待合施設	50	16.35
2.赤石公民館	150	49.05
3.水分小学校屋内運動場	200	65.40
4.星山小学校校舎	120	39.24
5.彦部公民館	150	49.05
6.古館小学校西校舎	225	73.57
7.彦部小学校屋内運動場	195	63.76
8.日詰小学校屋内運動場	225	73.57
9.佐比内小学校校舎	225	73.57
10.長岡公民館	200	65.40
11.上平沢小学校	1,611	526.79
合 計	3,351	1,095.78



<当金庫におけるESG・SDGsの取組み（態勢強化）>

■ 金庫内部の態勢強化に係る取組みは以下のとおり

① ESG・SDGs推進に係る組織の強化

令和4年4月より、専担部署の設置および企画部との連携により、SDGsに係る課題解決のアプローチ手法である**バックカスティング思考**（将来あるべき姿を描き、そこから逆算して何をすべきか具体的に定める）等を活用のうえ、ESG・SDGsの取組み強化を進めています。

<主な取組事項>

1. ESG・SDGs推進に関する職員の人財育成
2. 取引先企業の脱炭素化に向けた取組支援
3. 環境に配慮した店舗・職場、業務改善
4. 金庫イメージ・ブランド力の向上

② 役職員向けESG・SDGs研修会の実施

お客さまのESG・SDGsに係る課題解決の支援強化のために、外部講師（有識者）等を招聘し、役職員向けの研修会を開催することで、人財育成に努めています。

令和4年3月9日、取引先である紫波グリーンエネルギー(株)の山口代表取締役様を講師とし、また、6月7日、ESG金融の有識者である、三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)の吉高まり様を講師として、役職員向けに研修会を開催しました。



令和4年6月7日開催 ESG・SDGs研修会

<当金庫におけるESG・SDGsの取組み（態勢強化）>

③ 会議用のタブレット端末の導入（ペーパーレス化）

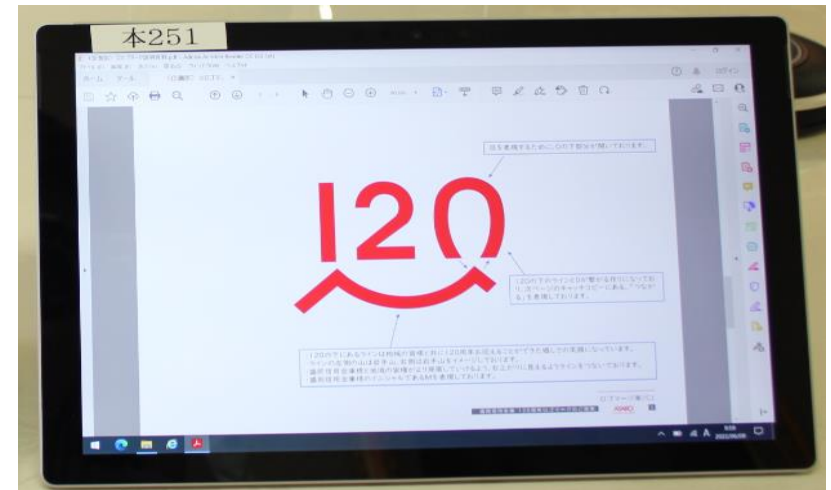
金庫内で実施されていた各種会議について、ペーパーレス化および資料準備等に係る事務負担軽減のため、令和3年10月より、会議用タブレット端末20台を導入し、ペーパーレス会議の運用を実施しています。

④ クラウド型給与明細電子システムの導入（ペーパーレス化）

従来、紙の給与明細表を交付していましたが、当該事務に係る労力・時間の削減、遅延・誤配送・紛失リスク等を排除するため、令和4年7月より、クラウド型給与明細電子システムを導入しました。

⑤ 融資電子稟議システムの導入（ペーパーレス化）

現在、融資稟議については、紙での申請を実施していますが、「LISM」の機能を活用し、今後、一部店舗、一部科目に限定しながら、段階的に電子稟議を導入することで進めています。



会議用タブレット端末

画面の操作方法

各月の明細書データの一覧が表示されるので、閲覧したい月の「ダウンロード」ボタンをクリック
対象の帳票：給与明細書・賞与明細書・源泉徴収票 各2年分 ※2022年分からのスタート



PDFがダウンロードされ、給与明細を開くことができます。
参考：給与明細書イメージ

A sample image of a payroll statement (給与明細書). It shows a table with columns for '項目' (Item), '金額' (Amount), and '単位' (Unit). The table contains various entries related to payroll, such as '基本給' (Basic Salary), '残業代' (Overtime Pay), and '源泉徴収' (Social Security Deduction). The table is presented in a grid format with blue and white cells.

クラウド型給与明細電子システム

<当金庫におけるESG・SDGsの取組み（態勢強化）>

⑥「ディスクロージャー誌」に係る環境に配慮した取組み

金庫の取組み、組織体制および決算状況等を開示するため（信用金庫法第89条第1項に準用する銀行法第21条第1項）、事業年度毎にディスクロージャー誌を発行していますが、令和4年度、より環境に配慮した取組みを実施しています。

<取組概要>

ディスクロージャー2022【企業編】で使用する素材について、従来のFSCミックス（厳しいFSC認証のもとで運営されている森林から生まれた原材料とFSC規格にあった木材やリサイクル材をミックスしている製品）から、LIMEX（ライメックス）に変更しました。

LIMEXとは、水資源や森林資源の利用を抑えた石灰石からなる素材であり、紙の代替ともなり、紙より耐水性、耐久性が高いものになります。

森林や水資源の削減につながるとともに、石油由来樹脂の使用量も抑えられることから、気候変動に貢献することとなり、環境に良い素材であります。

当金庫のウェブサイト
（ディスクロージャー誌の掲載ページ）
<http://www.morishin.co.jp/about/?id=discl0>

※なお、スマートフォン等からは、こちらでもアクセスすることができます。

盛岡信用金庫
ディスクロージャー2022・盛岡信用金庫の現況
〒020-0871 盛岡市中ノ橋通1-4-6
TEL 019-623-2221
URL <http://www.morishin.co.jp/>

Face to Face

本ディスクロージャー誌は、水資源や森林資源の利用を抑えた石灰石からなる新素材「LIMEX（ライメックス）」を使用しています。当金庫は、今後も限りある資源を大切に、環境に配慮したSDGsの取組みを継続してまいります。

廃棄に際しては古紙回収に出さず、可燃ごみとして取扱ってください

ディスクロージャー2022【企業編】

<今後の課題>

■ 関連部署のみならず全職員のESG・SDGsに係る意識向上（ノウハウ・スキルを含む）に向けた継続的な人財育成

来年度からスタートする新中期経営計画（3年間）において、具体的な人財育成プラン等（研修）を検討

■ もりおかSDGsファンドの取組みを実施している中、今後、個々の企業支援「点」から「面」への支援展開

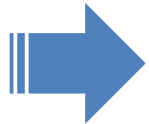
ファンドの投資にとどまらず、(株)盛岡書房様の「象と花」プロジェクトのような他企業や団体を巻き込んだ主体的支援

■ 関連部署と連携した取引先企業の脱炭素支援へ向けた取組強化

CO₂排出量の可視化から削減に向けたサポート、専用融資商品の設計等

■ 自治体や地元企業と連携した再生可能エネルギー事業に係る循環型社会の形成に向けた取組強化

県外大手企業による大型プロジェクトに依存するのではなく、「エネルギーの効率利用」「地域資源の活用」「お金の地域内循環」による循環型社会の形成に向けた取組強化

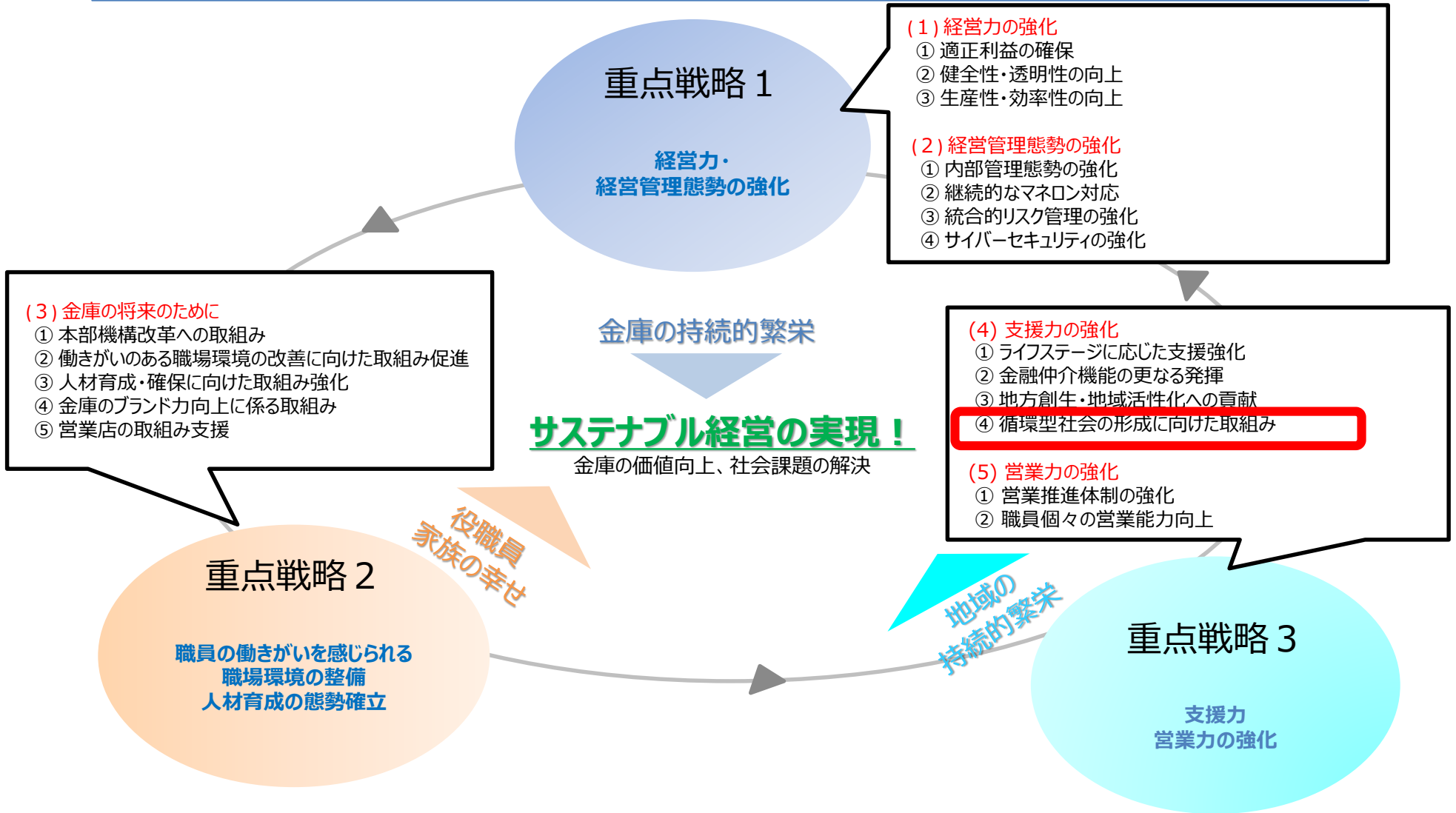


新中期経営計画へ

「サステナブル経営の実現に向けた創造と挑戦『情熱大陸』作戦Ⅱ」

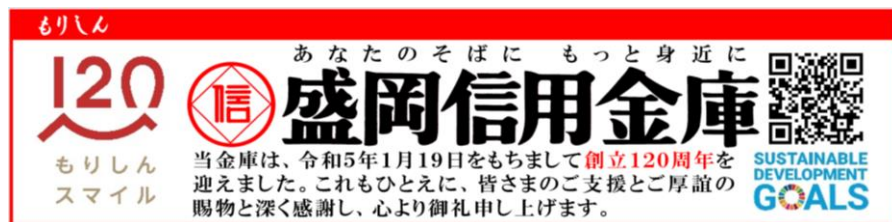
新中期経営計画「サステナブル経営の実現に向けた創造と挑戦『情熱大陸』作戦Ⅱ 2023.4～2026.3」のビジョン（抜粋）

環境・社会の持続可能性の危機やデジタル化の急速な進展といった社会変容の中で、当金庫が地域金融機関として競争力を高めていくには、現状維持や既存事業の改善・改良に留まることなく、**組織能力を改革し、ビジネスモデルを変革していくことが必要**となる。



本日は、ご清聴誠にありがとうございました。

- ・本資料は、作成日現在の情報をもとに作成しており、今後の状況等により変更となる場合もありますので、記載の内容・数値等は将来にわたって保証されるものではありません。
- ・本資料のご照会等については、以下連絡先をお願いします。



もりしん

あなたのそばに もっと身近に

120 **信** **盛岡信用金庫**

もりしん
スマイル

当金庫は、令和5年1月19日をもちまして**創立120周年**を迎えました。これもひとえに、皆さまのご支援とご厚誼の賜物と深く感謝し、心より御礼申し上げます。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

企画部 高木

住所：〒020-0871

盛岡市中ノ橋通 1 - 4 - 6

電話：019 (623) 2221